

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
日曜特訓	休校 月謝振替日					
8	9	10	11	12	13	14
育伸テスト締切 日曜特訓	休校	月謝再振替日				
15	16	17	18	19	20	21
日曜特訓	休校					
22	23	24	25	26	27	28
五ツ木駿々堂模試 日曜特訓	休校					
29	30	31				
日曜特訓	休校					
開校時間 火～金 14:00～21:10 土 10:30～19:00 日 13:00～19:00 (変更の場合有)						

★ 10月の予定 10/1、8、15、22、29 小6対象日曜特訓 10/8(日) 育伸テスト締切
10/22(日) 五ツ木駿々堂模試

M.access (エム・アクセス)

TEL:075-256-7739

Fax:075-256-7724

E-mail maccess@sch.jp

独断◆(承前)さらに、Web書店というものができたことが、致命的に知的活字文化を破壊している。◆街の書店は、ただ本を売るだけのところではなかった。人は、決めた本を買うためだけに書店を訪問するものではなかった。書店は、書物の販売だけでなく、さまざまな本の展示場でもあった。女性が買うつもりのない洋服をウインドウショッピングをするように、書店の本棚を眺めて歩いて、何か興味を引く本がないかどうか見て歩くのが、読書人の書店を訪れる大きな意味の一つだった。書店で、目的もなく本を見回ることが、自分の知らない新しい分野の本に出会えるきっかけとなっていた。◆Web書店では「立ち読み」つまりページをペラペラとめくって、書物の全体像をつかむ、ということができない。ところによっては数ページの立ち読みが可能なWeb書店もあるが、それはあくまでもWeb書店側の指定したページを見ることができただけの、非常に限定されたものである。買う側としては、本の全体像をつかみたいのだ。目次をくって、興味を引く単元を試し読みしたいのだ。そうして、これは、という本を買って帰って家でじっくり読んだのだ。それが多くの読書人の基本形である。◆Web書店の台頭によって、書籍全般の販売量は低下しているはずだ。店舗を構えている街の書店は、書籍全般の販売量が減っている上にWeb書店に顧客を奪われて、おそらく青息吐息の状況ではないか。現に多くの街の書店が、閉店を余儀なくされている。◆適者生存、時代に合わない商売は消えていく、と言い切って良いものか。人知に貢献してきた街の書店が消えていくことは、人類にとって間違いなく大きな損失である。了(み)